



No.4

なかにし るみ
中西 瑠美

混沌

平面 560mm×457mm
ゼラチンシルバープリント
2009年制作

説明

全ては消えゆくものである。
生は与えられたと同時に、終わりへの路を辿らせる。
その当たり前で、でも不自然な理を人は受け入れ、
そして忘れて生きている。
答えのない疑問をこの作品を通し、
鑑賞者に投げかけたいと考えている。

最低入札金額 6,000円



No.5

なかにし るみ
中西 瑠美

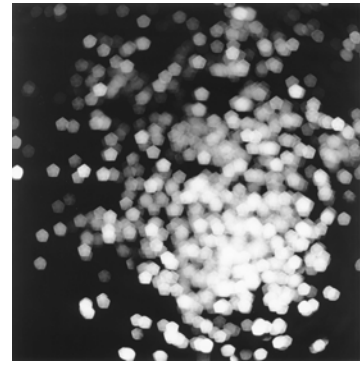
漠然

平面 560mm×457mm
ゼラチンシルバープリント
2009年制作

説明

日々、何かに追われているような焦燥感に駆られ
生き急ぐ私たち現代人。
ふと気を抜くと奥底から溢れ出す寂しさや虚しさに
似た、でもそれとは違う何か。
その“何か”を感じ、普段見て見ぬふりで
通りすぎている己の“負”と向き合う時間を
この一枚に詰め込んだ。

最低入札金額 6,000円



No.6

こんだ たつや
紺田 達也

川

平面 432mm×356mm
ゼラチンシルバープリント
2010年制作

説明

視力が悪いからこそ見える
きれいな世界があると思います。
その世界を写真で表現することが出来ないかと思いました。

略歴

2008年 大阪芸術大学写真学科 入学
2010年 グループ展『個々展』 SOHOギャラリー

最低入札価格 10,000円



No.7

こんだ たつや
紺田 達也

港

平面 432mm×356mm
ゼラチンシルバープリント
2010年制作

説明

視力が悪いからこそ見える
きれいな世界があると思います。
その世界を写真で表現することが出来ないかと思いました。

略歴

2008年 大阪芸術大学写真学科 入学
2010年 グループ展『個々展』 SOHOギャラリー

最低入札価格 10,000円



No.8

そう しゅうけい
宋 修慧

影

平面 254mm×305mm
紙、ゼラチンシルバープリント
2010年制作

説明

影というものは物と光があるから影ができます。
光の当たり具合で影が伸びたりするので色々な形
があります。普段、私たちが気がならない影に注目
して色々な形を見つけていきたいと思い、
影を撮っています。

最低入札価格 5,000円 (額を含まない)



No.9

そう しゅうけい
宋 修慧

影

平面 254mm×305mm
紙、ゼラチンシルバープリント
2010年制作

説明

影というものは物と光があるから影ができます。
光の当たり具合で影が伸びたりするので色々な形
があります。普段、私たちが気がならない影に注目
して色々な形を見つけていきたいと思い、
影を撮っています。

最低入札価格 5,000円 (額を含まない)



No.10

のもり まゆ
野守 真有

知らない世界の夢を見て

平面 406mm×508mm
パラ板紙、ゼラチンシルバープリント
2010年制作

説明

小さな光でも、輝くものは美しく見える。
そしてその領域には手を伸ばしても届かない。
そんな世界に憧れを抱くのは、人としての本能である。

最低入札価格 5,000円 (額を含まない)



No.11

のもり まゆ
野守 真有

こぼれおちる残響

平面 406mm×508mm
カラー印画紙、タイプCプリント
2010年制作

説明

水にうつる世界を見る機会はたくさんある。
そしてそのありもしない世界に想いを
はせることはとても心地のいいものである。

最低入札価格 5,000円 (額を含まない)



No.12

やぶぐち ゆうや
藪口 雄也

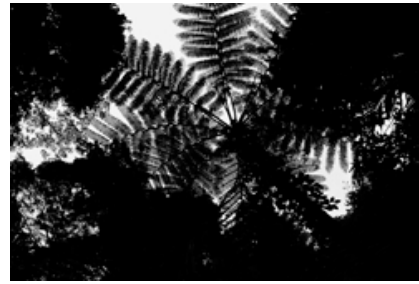
模様

平面 350mm×265mm
マットフォトペーパー、デジタル
2010年制作

説明

木々を逆光で撮り、シルエットにする。
遠近感のない写真は、私には模様の様に見える。
葉と葉、枝と枝が重なり複雑になればなるほど、
元の姿を失い、模様になる。

最低入札金額 2,000円



No.13

やぶぐち ゆうや
藪口 雄也

模様

平面 265mm×350mm
マットフォトペーパー、デジタル
2010年制作

説明

木々を逆光で撮り、シルエットにする。
遠近感のない写真は、私には模様の様に見える。
葉と葉、枝と枝が重なり複雑になればなるほど、
元の姿を失い、模様になる。

最低入札金額 2,000円



No.17

ひさだ いさお
久田 功

凍結したクレター

立体 135mm×300mm×300mm
粘土、手回し轆轤
2009年制作

説明

私の手回し轆轤で制作する壺類の特徴は、底から横に張り出した
形状なので立ち上げの段階での粘土の乾燥具合のタイミングを
上手く合わせなければ、この形状が整いません。そのため電動轆轤
では制作し難い形状なので一挙に成形することができません。
物によっては制作期間が数ヶ月から数週かけなければ完成できない
ものです。今回エントリーしました作品は、信楽の白粘土を使用し
貫入釉薬を掛けた作品で、凍りついたクレターをイメージして
制作しました。

略歴

1979年 手回し轆轤による陶芸を始める
2010年 大阪芸術大学通信学部陶芸コース 卒業
2010年 大阪芸術大学大学院 入学

最低入札価格 30,000円



No.18

ももきの ふみお
桃木野 史雄

ゾウ

立体 240mm×250mm×120mm
陶土、手びねり
2008年制作

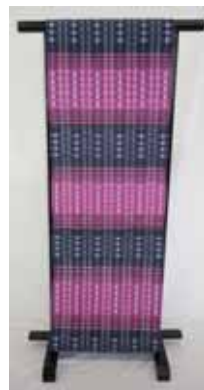
説明

人の形をしながら動物の角のような流動しながら
もがき苦しんでいるような、そんな人間と自然の
ありかたを土という素材をとおして制作しました。

略歴

2009年 大阪芸術大学工芸学科 卒業
2010年 大阪芸術大学大学院 入学

最低入札価格 70,000円



No.19

ひらおか ともこ
平岡 朋子

幻夜

3600mm×310mm
麻（ラミー）、縹吉野織帯
2010年制作

説明

幼い頃、祖父母の庭で夜中に見たピンク色の花。
街灯の光が庭まで届いていたのか、
不思議とその花だけ輝いて見えた。
それは年月が経つにつれ異様な記憶となって、
しかし未だに私の目に焼き付いている。

略歴

2005年 大阪芸術大学工芸学科 入学

最低入札価格 60,000円



No.20

きしだ めぐみ
岸田 めぐみ

世界が一番きれいなとき

平面 1370mm×600mm
綿糸、麻糸 綴織
2009年制作

説明

日常の中に潜む「美」を感じる瞬間、
その時の風景を織り出しました。

略歴

2007年 大阪芸術大学工芸学科 入学

最低入札価格 80,000円



No.21

ふじわら かんたろう
藤原 寛太郎

石の花器

立体 120mm×320mm×320mm
ガラス、ホットワーク
2010年制作

説明

昔懐かしの日本の景色をコンセプトに考えました。
山に感じる静けさ、野に咲く花の心落ち着く空気を
出す為に石をモチーフに花器を作りました。

略歴

2009年 ガラス教育機関合同会議「GEN」 参加
イルミネイト万博2009：Winter：万博公園アートプロジェクト 参加
2010年 ヨーロッパ国際セミナー 参加
日中交流作品展 出品

最低入札価格 30,000円



No.22

ますおか ひろこ
増岡 弘子

幽明（頭）

平面 1750mm×600mm
綿ブロード、ろう染
2010年制作

説明

植物×無機をテーマにした2作目。
コントラストが強く彩度の高い画面により、盛夏の空気を表現した。

略歴

2007年 大阪芸術大学工芸学科 入学

最低入札価格 40,000円



No.23

かわさき ゆたか
川崎 寛

ひとりのゴリラ

立体 300mm×550mm×200mm
ブロンズ、鉄、鋳物

2010年制作

説明

ゴリラをデフォルメして、ブロンズで鋳造した作品です。

略歴

2008年 大阪芸術大学短期大学部 卒業
2009年 大阪芸術大学工芸学科 編入学
2010年 「ギャラリーいろはに」にてグループ展
2010年 日中展 出展

最低入札金額 60,000円



No.24

もり ゆうき
森 裕起

理論的証明

立体 100mm×100mm×100mm
ガラス、キルンキャスト
2010年制作

説明

感情など喜怒哀楽が乏しい自分。何通りもの答えがある国語より、一つの答えしかない数学の方が好き。そういう物事をどのような原理でどうその答えに至るのかという、自分の考え方をイメージした作品。中のアンモナイトは殻の中の閉じ込められている自分を表現。色もアンモナイトをイメージして古代風にした。

最低入札金額 25,000円



No.25

やまもと すずみ
山本 涼美

鍍金花器

立体 100mm×170mm×140mm
青銅、鍍金

2010年制作

説明

それぞれに、柔らかい、固いと違った意味を持つ対になる花器を制作しました。

略歴

2008年 大阪芸術大学工芸学科 入学

最低入札金額 50,000円



No.26

ふじい りえ
藤井 理栄

鍛金花器

立体 170mm×200mm×200mm
銅板、鍛金

2010年制作

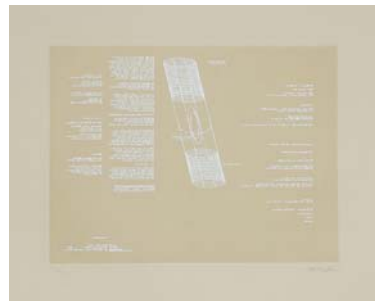
説明

銅版で制作した花器は、張った形が美しいということを念頭において制作しました。

略歴

2008年 大阪芸術大学工芸学科 入学

最低入札金額 50,000円



No.30

こうの まさのり
河野 匡範

判読できない筆跡-epitaph-

平面 509mm×660mm×35mm
BFK紙、インク、エッチング、ローラー凸版
2010年制作

説明

コンセプトは、現代の情報の流れの早さとそれに追いついていけない現代に生きる私たち。一方的に情報が流れ込み、どこか表面的にしか物事を捉えることが出来ず、自身で考え、理解し、自分なりの答えを出し、消化するという機会を失っているのではないか。文字を刻み、腐食し、刷るという過程。この三つの過程が感覚的にも重なり意味の消失というものを問い掛けてきます。私の作品を観た時、観る側は文字が書かれていると思い近寄って観ようとするが、文字は反転してつぶれて読むことは出来ない。作品という一方的に迫ってくるはずのものが遠ざかる。その観る側と作品の距離感を感じることで、普段は意識しない表面的な情報の捉え方、向き合い方などについて問い掛けます。

略歴

2008年 大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科 卒業
2010年 大阪芸術大学美術学科 卒業
2010年 大阪芸術大学大学院 入学

最低入札金額 8,000円



No.31

たにぐち えり
谷口 恵理

トリオ

平面 424mm×348mm
紙、インク、スクリーンプリント、ボールペン

2010年制作

説明

仲良し3人兄弟をイメージして描いた作品です。プレートマークを利用し、上からつるされている様子を表現しました。

略歴

2010年 大阪芸術大学美術学科 卒業
2010年 大阪芸術大学大学院 入学

最低入札金額 6,000円 (シートのみ)



No.32

たにぐち えり
谷口 恵理

「しらたま」

平面 303mm×242mm
紙、インク、スクリーンプリント、ボールペン

2010年制作

説明

白玉だんごをイメージして描いた作品です。光沢メジウムを使用し、白玉のツヤを表現しています。

略歴

2010年 大阪芸術大学美術学科 卒業
2010年 大阪芸術大学大学院 入学

最低入札金額 6,000円 (シートのみ)



No.33

おばたけ ゆり
小島 友理

使い

平面 410mm×546mm
膠、水干、岩絵の具、麻紙、日本画
2010年制作

説明

素直にそして真っ直ぐに見つめる、りんとした象を描きました。

略歴

2007年 大阪芸術大学美術学科 入学
2010年 第45回日春展 入選

最低入札金額 25,000円



No.34

ふしみ しげき
伏見 茂樹

無

平面 502mm×502mm
板、顔料、箔、膠、日本画

2010年制作

説明

東洋絵画の世界では、気韻生動という考えがあります。気品があり、生命感が感じられるという意味があり、東洋絵画では最も重要な要素とされています。私は、この気韻生動の考えをもとに、自然の形態や色彩を集め、自分なりの解釈で描きました。

略歴

2007年 大阪芸術大学美術学科 入学

最低入札金額 25,000円



No.35

きよた かつや
清田 勝也

「風景 I」

平面 265mm×335mm
岩絵具、日本画
2010年制作

説明

どこか、懐かしさがある絵が描けたらと思い描きました。

略歴

2007年 大阪芸術大学美術学科 入学
2010年 第45回 日春展 入選

最低入札金額 15,000円



No.36

かわい みか
河合 美香

ダボスの丘

平面 727mm×606mm
キャンバス 油彩

2010年制作

説明

自然豊かな長野県の菅平の夏の丘の風景を描きました。夏でも涼しい風の吹く丘の草花が色鮮やかでさわやかに感じました。

最低入札金額 50,000円



No.37

たつみ ゆうこ
巽 優子

木漏れ日

平面 606mm×727mm
キャンバス 油彩

2010年制作

最低入札金額 50,000円



No.38

たさき あつこ
田崎 温子

道

平面 727mm×606mm
キャンバス 油彩

2010年制作

説明

菅平合宿の時に描いた作品です。

最低入札金額 50,000円



No.1

おくだ もとゆき
奥田 基之

存在の庭 #14

平面 770mm×620mm×40mm
ゼラチンシルバープリント
1997年制作

説明

存在の庭 長椅子のシリーズより

販売提示価格 100,000円（額を含まない）



No.2

おくだ もとゆき
奥田 基之

存在の庭 #17

平面 770mm×620mm×40mm
ゼラチンシルバープリント
1997年制作

説明

存在の庭 長椅子のシリーズより

販売提示価格 100,000円（額を含まない）



No.3

おくだ もとゆき
奥田 基之

存在の庭 #20

平面 770mm×620mm×40mm
ゼラチンシルバープリント
1997年制作

説明

存在の庭 長椅子のシリーズより

販売提示価格 100,000円（額を含まない）



No.14

やまの ひろし
山野 宏

From East To West Scene “景”

立体 70mm×200mm×200mm
吹きガラス、加工、接着、銅メッキ
2010年制作

説明

吹き硝子技法により制作し、花・魚をモチーフに
身近な日本の自然から受けた心象風景で静かな
幽玄の世界を表現しています。

販売提示価格 80,000円

略歴

金津創作の森ガラス工房エズラガラススタジオ代表
大阪芸術大学工芸学科教授

1956年 福岡県生まれ
1981年 中央大学文学部史学科卒業
1982年 カリフォルニア単科美術工芸大学留学
1984年 東京ガラス工芸研究所卒業
1988年 ペンランド・スクール助手
1989年 ロチェスター工科大学大学院美術科ガラス工芸専攻卒業/
クリエイティブ・グラスセンター・オブ・アメリカ招待作家
1998年 金津創作の森ガラス工房エズラガラススタジオ設立
2003年 大阪芸術大学助教授
2006年 大阪芸術大学教授

収蔵

ロチェスター工科大学図書館（アメリカ）
ウィートンガラスミュージアム（アメリカ）
ウィンターパークシティーホール（アメリカ）
コーニング・ガラス美術館（アメリカ）
チャールズ・A・ワスタム美術館（アメリカ）
グランドクリスタル美術館（台湾）
ロウ美術館（アメリカ）



No.15

みなみ かずのぶ
南 和伸

静かなる山

立体 270mm×320mm×245mm
陶器、手びねり
2009年制作

説明

山の裾野より大きくなびく雲、その上に山の頂きが覗かせる。
その自然の営みの中には、一瞬の壮大なドラマがある。
その先には新しい発見があり、遠い過去より未来へ向かっている。

販売提示価格 150,000円

略歴

1951年 大阪府岸和田市に生まれる
1980年 第66回光風会展（東京都美術館）
1981年 日本新工芸展（東京、東急）
1985年 中日国際陶芸展（名古屋）
1986年 日展（東京都美術館）
1987年 現代の工芸3人展（大建ギャラリー）
1993年 国際陶芸ビエンナーレ（フランス）奨励賞
1998年 日本陶芸展（東京・大丸）毎日新聞社賞
2002年 第88回光風展（東京都美術館）・会員賞
2006年 第93回光風展（国立新美術館）・杉浦非水記念賞
現在光風会評議員・審査員



No.16

はせがわ まさひろ
長谷川 政弘

生命の記憶

立体 450mm×180mm×180mm
ブロンズ、鋳造
2005年制作

説明

細胞分裂をくりかえし限りなく成長する生命体

略歴

2004年 Emaar国際アートシンポジウム招待・作品設置(UAE)
2005年 Lulea Summerビエンナーレ招待(スウェーデン)
2006年 国際彫刻ビエンナーレChaco Argentina
招待・作品設置(アルゼンチン)
2010年 アブタビ国際彫刻シンポジウム招待・作品設置(UAE)

販売提示価格 250,000円



No.27

よしなか まさなを
吉仲 正直

ハナ

平面 180mm×265mm
水性インク、和墨
2010年制作

説明

花の花弁の印象を抽象化しました。

略歴

1965年 早稲田大学文学部美術史科 卒業
1988年 文化庁芸術家在外研究員 弘益大学校美術大学校(韓国)

販売提示価格 10,000円

■個展

2000年 かわさきIBM市民文化ギャラリー／神奈川県川崎市
2003年 西宮市民ギャラリー／兵庫県西宮市
2005年 ヒノギャラリー／東京 日本橋
2006年 信濃橋画廊apron／大阪
2007年 ヒノギャラリー／東京 日本橋
ギャラリーDen／大阪
2008年 ヒノギャラリー／東京 日本橋

■グループ展

2000年 第1回知のゆくえ三人展(ギャラリー風／大阪)
2001年 Drawings '01 (SAI GALLERY／大阪)
2002年 夏展 吉仲正直(ギャラリー島田／東京)
2005年 画中の言説展(ギャラリー風 大阪造形センター／大阪)
MCM I L A N A R Tギャラリー オープン企画展
(MCM I L A N A R Tギャラリー／東京 吉祥寺)
美の冒険者たち 大阪芸術大学造形系教員作品展
(アートコートギャラリー／大阪)
2006年 美の冒険者たち 大阪芸術大学造形系教員作品展
(アートコートギャラリー／大阪)
2009年 The Unanswered Question-答えのない質問-/伊丹市美術館
2010年 DOMANI 明日展 未来を担う美術家たち
文化庁芸術家在外研修の成果／国立新美術館
北摂の作家展／尼信博物館(尼信会館)

■ミュージアム・コレクション

東京国立近代美術館



No.28

おくだ ゆういち
奥田 右一

Tube・2010

平面 509mm×394mm×27mm
紙、ウォーターレス・リトグラフ
2010年制作

説明

描く事の行為から生まれる軌道跡の流れを一瞬の切り取りとして
画面に時間軸を定着させようと試みています。

略歴

1975年 個展・画廊みやざき／大阪
1976年 第5回ブラッドフォード国際版画ビエンナーレ／英国
1981年 現代の平面OSAKA青年ビエンナーレ展／大阪府立現代美術センター
2005年～現在 信濃橋画廊apron／大阪

販売提示価格 18,000円



No.29

みまち せいじ
三待 成司

フキ図

平面 520mm×595mm×40mm
麻紙、岩絵具、金箔
2005年制作

説明

藪の中で出会ったフキの、その強さと端々しさ、
そして形の面白さに惹かれて制作した。
本金箔の赤口と青口を使い分けながらも
植物の持つしなやかさを失わない様に心がけた。

略歴

1960年広島県生まれ
大阪芸術大学美術学科卒業
現在 創画会准会員、京都日本画家協会会員
大阪芸術大学美術学科非常勤講師

販売提示価格 240,000円